

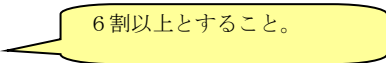
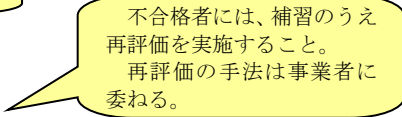
修了評価の方法

評価基準作成者：廣瀬正明

評価方法及び合格基準	<p>1 出題範囲</p> <ul style="list-style-type: none">・「(介護における尊厳の保持・自立支援) から 「(9) こととからだのしくみと生活支援技術」までとする。 <p>「生活援助従事者研修」[中央法規] 発行の 1ページから300ページまでとする。</p> <p>2 出題形式</p> <p>穴埋め形式とする(一項目5問で、一項目5つの語句から一個を選択して穴埋めする)</p> <p>3 出題数</p> <p>50問(20項目で一項目につき5問) 全問正解:50点満点</p> <p>4 合否判定基準</p> <p>30点以上</p> <p>5 不合格になったときの取扱い</p> <p>結果発表後、直ちに一時間の補習のうえ再評価を行う。 再試験は3回までおこなう。</p> <p>なお、再評価に係る合格基準は30点以上とする。 補習料:一時間あたり2000円 再評価料1000円</p>
------------	--

修了評価の方法

評価基準作成者： _____

評価方法及び合格基準	<p>1 出題範囲</p> <ul style="list-style-type: none">「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から「(9) ところとからだのしくみと生活支援技術」までとする。〇〇テキスト〇ページから〇ページまでの間で出題する。 等々 <p>2 出題形式</p> <p>四肢択一形式及び記述形式とする。 等々</p> <p>3 出題数</p> <ul style="list-style-type: none">択一問題〇問（配点〇点）、記述式問題〇問（配点〇点） 全問正解：〇点満点「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から〇問 等々 <p>4 合否判定基準</p> <p>〇点以上 </p> <p>5 不合格になったときの取扱い</p> <ul style="list-style-type: none">結果発表後、直ちに〇時間の補習のうえ再評価を行う。 なお、再評価に係る合格基準は〇点以上とする。 補習料：1時間あたり〇円 再評価料〇円再試験を最大〇回まで実施する。 なお、再試験の結果、不合格であった者には・・・ 再試験料：1回あたり〇円不合格者には、修了評価者が直ちに個別指導を行い・・・ 等々 
------------	---